

微風

そよかぜ

山陰労災病院

No.46

- 病院機能評価認定施設
- 医師臨床研修指定病院
- 地域医療支援病院
- 救急告示病院

山陰労災病院の基本理念

私たちは、地域の皆さまと働く人々から信頼され
選ばれる病院を目指します

この冬を元気に過ごしましょう！ ～インフルエンザについて～

感染管理認定看護師 目次 香

新型インフルエンザ

2009年に猛威をふるった新型インフルエンザは、鳥に感染する鳥インフルエンザが遺伝子の変異を起こし、ヒトに感染するようになったウイルスによるものです。例年冬に流行を繰り返しているものを季節性インフルエンザといいます。

今回の新型インフルエンザと季節性インフルエンザを比較してみると、症状は同程度で致死率の差も大きくありませんでしたが、感染力が違っていたようです。

	季節性インフルエンザ	2009年新型インフルエンザ
感染率	約10%	20～30%
致死率	0.1%以下	0.1%前後
症状	発熱・呼吸器症状など	
治療	抗インフルエンザ薬が有効	
感染しやすい年代	全年齢層	20歳未満の若年層
重症化	リスク因子	基礎疾患のある人・妊婦
	起こす年代	高齢者

表1 季節性インフルエンザと
2009年新型インフルエンザ(A/H1N1)比較

「新型インフルエンザ騒動から学ぶ 本当の感染症対策」ライフ出版社より 一部改変

インフルエンザ感染予防対策

インフルエンザに感染した患者の咳やくしゃみで飛び散るしぶきが感染源となるので、それらを防ぐ対策が必要であり、近年「咳エチケット」という言葉で表わされるようになりました。

具体的には

咳エチケット

- ①咳やくしゃみをするときはティッシュなどで覆う。
- ②咳やくしゃみ症状がある人と1～2メートル離れる。
- ③咳やくしゃみの症状があるときはマスクをつける。
- ④頻回に手指衛生を行なう。



ということになります。

インフルエンザは潜伏期があるため、人ごみの中ではだれが感染しているのかは分かりません。流行期などには外出を控えるようにするというのも効果的であると言えます。

インフルエンザワクチン

ワクチン接種は感染予防対策の一つです。インフルエンザワクチンの有効性は80%程度であると言われ、接種後必ずしも感染を起こさないわけではありません。しかし重症化を防ぐことができますので、積極的に受けていただきたいと思います。

インフルエンザは一般的に冬の感染症であると考えられてきましたが、2009年の新型インフルエンザはそうではありませんでした。今後インフルエンザの流行がどうなるのか予測するのは困難です。

感染対策は感染が起こってしまっただけで原因を探ってからでは遅いといえます。普段からの健康維持と予防対策に努めて、この冬を元気に過ごしましょう。

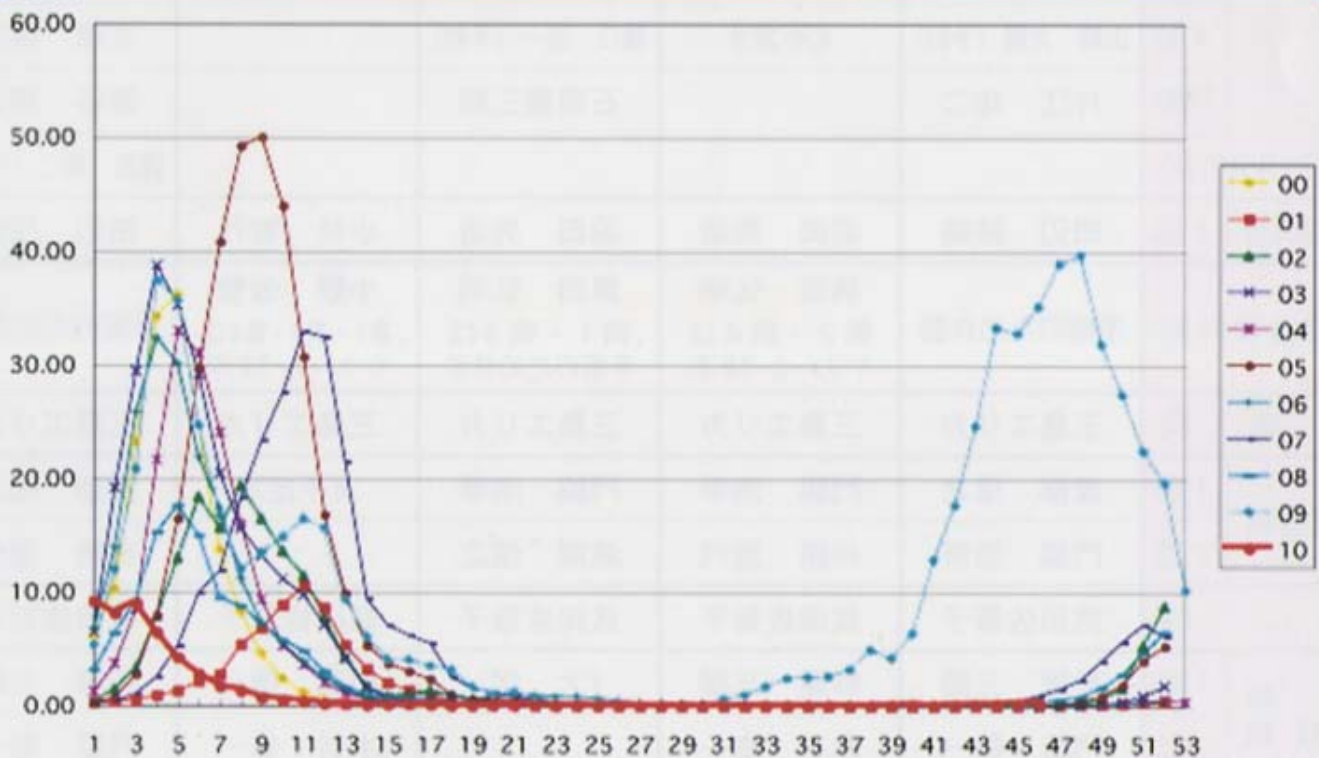


図1 インフルエンザ流行状況（過去10年との比較）

Infectious gastroentrititis cases reported per sentinel weekly [定点当たり報告数]
国立感染症研究所感染症情報センターHPより転載